

「税を考える週間」について

11月11日から17日までの一週間は、「税を考える週間」です。

これは、租税の意義や役割を考え、税務行政に対する知識と理解を深めていただくための取組で、毎年この期間中は、国税局や税務署を中心として、関係民間団体等が連携しながら、税に関する作文の発表などが行われます。

「税を考える週間」の歴史は古く、昭和29年の「納税者の声を聞く月間」から始まり、何度かの見直しと改称を経て、平成16年から現在の名称になっています。

国税庁ホームページには、「これからの社会に向かって」をテーマとした特設ページが設けられ、国税庁の各種取組について紹介されています。

税は、私たちの生活に欠かすことのできない道路、上下水道などのインフラ整備、警察・消防、教育、社会保障などの充実した公共サービスを行うための大切な財源です。

また、大雨や地震などの自然災害で被災した施設などの復旧にも税が使われています。

この機会に、改めて、私たちの生活と税の役割について考えてみませんか。

なお、「税を考える週間」の期間中の催しについては、各税務署にお問い合わせください。

〔県税・市町村税インフォメーション〕

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/zaimu/zeimu/top.html>

〔国税庁の取組紹介〕

<https://www.nta.go.jp/about/introduction/torikumi/week/index.htm>